

令和4年度第3回広報・広聴委員会 会議報告

日 時	令和5年3月14日（火）14：00～16：10
場 所	オンライン開催
出席者	藤吉副委員長、宇野、鎌田、久保庭、坂口、富田、 吉原、関根・近藤（事務局）
欠 席	今部委員長

○開会

○協議

（1）令和5年度会報計画（会報第114号・115号）

- ・114号について、事務局提案の例年通りの案を進めることを確認。
- ・115号については、大会の開催方法等を見定めながら、改めて次年度に検討する。

（2）会誌『記録と史料』第34号の構成

- ・33号はページ数が約150頁と大部となった。送料等の関係から、34号は例年通り120頁程度としたい旨、事務局より説明。
- ・「特集」について、近畿部会の第163回例会（テーマ：「アーカイブズにおける基礎概念の再検討」）を取り上げることと決定。近畿部会の例会を親会の会誌で取り上げる企画意図等を盛り込んだ趣旨文について、担当委員が3月末までにたたき台を作成し、共有・意見交換を図ることとする。
- ・その他の特集案についても、アイデアがあれば随時情報交換・共有することとする。
- ・外部から事務局に寄せられた執筆の打診については、執筆を依頼する方向で事務局において調整を進める。同様の内容が他の刊行物に掲載され、その内容が重複する場合は、内容面での差別化を図ることを条件とする。
- ・「書評と紹介」については、候補となる書籍のうち、まず2冊について執筆候補者への内諾取得に着手することと決定。掲載本数は7本程度を上限とし、その他については次回の委員会で協議することとした。
- ・その他、「世界の窓」や「ネットワーク」等については、次回委員会において改めて協議することとした。

（3）その他

- ・従来「研究」に分類されてきた投稿論考について、「論文」と「研究ノート」等の分けを設けることについて検討を進めることとした。次回の委員会までにメール等で意見交換を行った上で、事務局において投稿規程等の改正案を作成し、次回委員会に諮る形で進めていく。
- ・会誌創刊以来のコーナーである「刊行物情報」について、紙幅の節減やインターネットの普及による当該記事の位置づけの変化等から、次回の委員会でその取扱いを検討することとした。

○連絡事項

（1）会報第113号・会誌第33号の進捗状況

- ・会報第 113 号の再校（委員確認）作業は 3 月 14 日が〆切。修正の必要がある場合は、3 月 14 日中に事務局まで連絡いただきたい。次回以降の校正も受領次第メーリングリストで共有する。
- ・会誌第 33 号は本日念校を終了。予定通り 3 月末刊行で、4 月上旬には発送できる見込み。

（２）令和 4 年度第 2 回役員会結果

- ・事務局より、広報・広聴委員会関係部分について報告。
- ・令和 5 年度予算については、外部委託化に向けて検討中で具体的な金額等が設定できない状況にあることから、とりあえず例年同様としている。外部委託化については、引き続き会長事務局と調整を進め、次年度の第 1 回役員会で委託化を進めた案を提示できるよう進めていく。
- ・令和 5 年度予算について、事務局業務の外部委託化に伴う予算確保の必要性は理解しているが、必要な旅費等を削減することのないよう委員から意見が出された。

（３）令和 4 年度滋賀大会アンケート結果の共有

- ・事務局より、大会・研修委員会事務局から情報提供された大会アンケート結果について報告。注目されるポイントとして、大会のオンライン開催を希望する声が比較的大きいことが挙げる。旅費・時間をかけずに参加できることや、職場で複数人が参加できることなどがメリットとして認識されているものと推定される。

○その他

（１）退任委員、事務局員からひとこと

- ・3 月末で退任する坂口委員と近藤事務局員からあいさつがあった。

（２）その他

- ・次回の委員会については、5 月を目途に日程を調整して開催する。

以上